

第4回 新任教員セミナー

国際文化学研究科の新任教員の研究内容を紹介・発信し学部や大学院での学術交流を促進することを目的に、今年度より開始するセミナーシリーズです。第4回は言語学がテーマです。

日時：2021年1月15日(金) 15:10～16:40

場所：オンライン開催 (Zoom)

講師：小松原 哲太 (国際文化学研究科講師)

「文彩の言語学—レトリックの効果を解析する—」

井原 駿 (国際文化学研究科助教)

「自然言語による義務と認識の表出

—モダリティ表現の意味論・語用論研究の現在—」

コメンテーター：芹澤 円 (国際文化学研究科助教)

南本 徹 (国際文化学研究科助教)

申込方法：お申し込み専用フォーム bit.ly/promis0115

※開催日までにオンライントークにアクセスするためのURLを送付いたします

講師略歴

小松原 哲太

専門は認知言語学、レトリック。京都大学大学院人間・環境学研究科博士課程修了の後、立命館大学言語教育センターを経て、2020年4月より現職。著書に『レトリックと意味の創造性—言葉の逸脱と認知言語学—』（2016年、京都大学学術出版会）ほか。

井原 駿

1991年生まれ。専門は自然言語の形式意味論・語用論。大阪大学大学院言語文化研究科博士後期課程を修了後、日本学術振興会特別研究員・PD（立命館大学）を経て、現職。刊行論文に“Superlative modifiers as concessive conditionals” Logic and Engineering of Natural Language Semantics 17など。